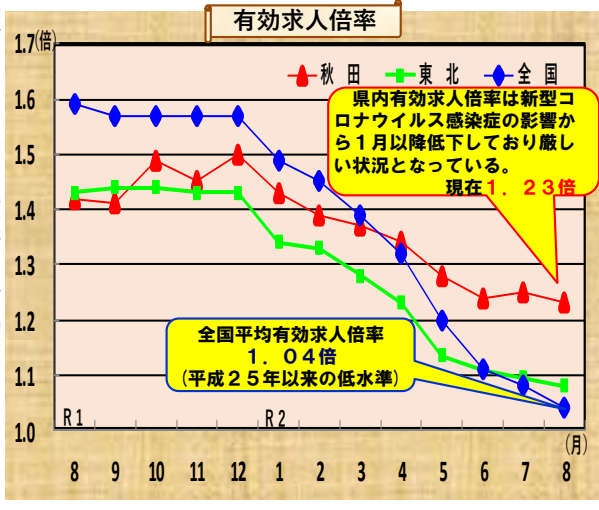


「援護だより」

令和2年度
上半期
発行10月31日



秋田県内の雇用情勢



秋田県内の経済状況

全体として厳しい状況が続いており、電子部品の生産は大幅に落ち込み、機械金属、木材も低調に推移。建設は、公共工事に減速感があり、住宅着工も弱い動きが続いている。個人消費は弱いながらも持ち直しの動きとなっている。

再就職援護施策の紹介

任期制隊員ライフプラン集合

一任期を満了した任期制隊員に対し、自己分析に基づいた人生設計を確立させることを目的として、講師(石巻専修大学学生相談員橋本睦氏)によるライフプランの作成意義や重要性等の教育の後、職業興味検

査の結果を踏まえたライフプランの作成について実習させました。

隊員からは「職業選択の際、計画的な資格取得等の事前準備や自助努力が必要なのかがわかった。将来の方向性や目標を考える上でとても参考になった。」という意見が多く寄せられました。

第一回・第二回就職指導及び就職援護教育(第一回五月二十五日、第二回七月十五日)

退職予定の隊員に対して、再就職企業へ提出する履歴書・職務経歴書の書き方や再就職の心構え・採用面接要領等、今年度は教育内容をリフレッシュして、教育の質と参加率の向上に留意し、再就職準備の万全を図りました。



部隊長等就職援護会同

県内所在の部隊長等による援護情報の交換及び業務要領に関する連絡調整を行う、円滑な就職援護業務に資することを目的として、部隊長等就職援護会同を実施しました。

施しました。本会同において各部隊から元年度の業務成果及び問題点とその対策、二年度の援護施策等が紹介され、退職までの援護管理(業務予定)等参考になるものについて、認識を共有するとともに理解の深化を図ることができました。



秋田県任期制隊員合同企業説明会(七月二十五日)

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響のある中、開催が危ぶまれたが、その対策を万全にして、退職予定の二十名に対し、雇用協力企業二十社による合同企業説明会を実施しました。参加隊員は面談計画に従い会場の各企業のブースで業務内容等の説明を真剣な表情で聞き、積極的に質問して再就職に望む熱意を前面に出していました。参加隊員からは「企業の考え方を知らない機会となり再就職に向け具体的な何を準備したらよいか分かった。」等の意見がありました。

企業からは「再就職に対する意気込みを感じた。採用したい隊員が見えました。」等の意見がありました。



第一回・第二回定年退職予定隊員インターンシップ

(第一回 八月三日〜七日、第二回 九月二十八日〜十月二日)

今年度は、輸送・医療福祉・舗装土木・製造・保安警備・保険・サービスの七つの業種にご協力いただき実施しました。参加隊員からは「多数の業種を見学し、新たな情報を得る等、就職先への職域が広がった。定年までに希望職種に必要な免許・資格を取得しなければならぬ。退職までの健康管理が大事。」等の意見がありました。

インターンシップに参加することで、再就職の準備へのきっかけとなり、早期にその方向性を確立し、不安や疑問を解消できます。



各業種の初任給の相場

業種	給与(円)
防災監	40万
保険・金融業	32万
輸送業	27万
医療・福祉業	26万
サービズ(施設管理・警備)	25万
サービズ(高速道路料金所)	20万
ガス業	17万
建設業	16万
製造業	15万
輸送業	15万
サービズ(警備・飲食・整備)	15万
レンタル業	19万

さらに詳しく知りたい方は、お気軽に援護センターまでお立ち寄りください。

最後に秋田地域援護センターでは、引き続き部隊、関係機関及び企業と連携して援護環境の充実を図り、退職者の要望に応えるべく努力してまいります。今後とも宜しくお願いたします。